

2006 ワールド・ウエットランド・ウィーク記念

国連大学『持続可能な発展のための教育の10年』仙台広域圏RCEプロジェクト

『蕪栗沼・周辺水田』

ラムサール条約湿地登録記念

田尻町ラムサールフェスティバル

～自然(蕪栗沼)に学び 暮らし(田んぼ)を豊かに～



平成18年2月3日(金)・4日(土)・5日(日)

メイン会場 宮城県田尻町文化センター

主催 田尻町・田尻町教育委員会

主管 田尻町ラムサールフェスティバル実行委員会

【開催概要】

協 賛

東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター
NPO法人蕪栗ぬまっこらぶ NPO法人田んぼ 大崎商工会 財団法人日本生態系協会
全国農業協同組合連合会 田尻町観光協会 田尻町幼小中PTA連絡協議会
田尻町エコツーリズム推進協議会 田尻町グリーン・ツーリズム委員会 田尻町産地直売施設運営協議会
日本雁を保護する会 日本湿地ネットワーク (Japan Wetlands Action Network) 有限会社たじり
穂波公社 みどりの農業協同組合 パルシステム生活協同組合連合会 株式会社アレフ
株式会社一ノ蔵 ドコモショップ古川中央店
KHB東日本放送 株式会社日本農業新聞

後 援

農林水産省東北農政局 国土交通省東北地方整備局 環境省東北地方環境事務所 宮城県



仙台放送局



TBC東北放送



河北新報社

読売新聞東北総局 朝日新聞仙台総局 毎日新聞仙台支局 大崎タイムス

【テーマ】

～ 自然（蕪栗沼）に学び 暮らし（田んぼ）を豊かに ～

【開催趣旨】

蕪栗沼とラムサール条約登録の意義を広く知ってもらう
田んぼからの環境再生を考える
環境の担い手となる次世代の育成
地域振興における蕪栗沼の利活用の提案

【概要】

町民参加型イベント

- ・環境と暮らし（農業等）についての基調講演
 - ・環境と暮らし（農業，商業，観光）の共生をテーマにした商品の販売
 - ・子どもたちがラムサール条約について学べるパネル展示等
 - ・蕪栗沼の歴史について学べるパネル展示等
 - ・蕪栗沼と田んぼの生き物について学べるジオラマ等の展示等
 - ・フォトコンテスト入賞作品表彰と応募作品展示 ・地場産品販売 ・土産土法料理提供（郷土料理）
 - ・スタンプラリー ・町内生涯学習サークルの作品展示等
 - ・町内小学生・中学生による環境教育の成果発表展示
- ラムサール条約の理解を深める
- ・海外講師による基調講演（海外指定湿地の現状と関連施策等）
 - ・地元NPO蕪栗ぬまっこらぶのラムサール条約指定湿地登録までの活動の歩みと町民の蕪栗沼への携わり方，ラムサール条約の活用の提案
- 自然環境と共生する暮らしについて考える

- ・ラムサール条約第9回締約国会議（COP9）において水田を含む指定がなされた『蕪栗沼・周辺水田』の登録の意義の検証
- ・海外ラムサール条約登録湿地とその周辺地域で行われている環境と共生する農業のあり方を学ぶ
- ・『ふゆみずたんぼ』の利点、課題、将来像を農業技術、農業経営、環境保全の分野から近年の試験データをを用いて検証
- ・『ふゆみずたんぼ』の広報・学習のための『ふゆみずたんぼの歌』の発表



<文化センターホール>

12:30 『蕪栗沼・周辺水田』ラムサール条約登録までの歩み（スライド上映）

13:00 歓迎のセレモニー

田尻町立すまいる園の園児107人による合唱
（ベートーベン交響曲第9番より「歓喜の歌」）
蕪栗沼と田尻町の春夏秋冬をDVDで紹介しながらのピアノ演奏

13:30 歓迎挨拶

田尻町長 堀江敏正

13:40 祝辞

環境省
農林水産省東北農政局長（予定）
宮城県知事

14:00 田尻エコツアーリズム フォトコンテスト表彰式

講評 池谷奉文（財団法人日本生態系協会 会長）

14:30 『子供たちと考える蕪栗沼とラムサール条約』

講師 戸島潤（NPO法人蕪栗ぬまっこくらぶ 副理事長）
概要：町内小中学校の児童・生徒を交えてラムサール条約とは何かについて一緒に考えます
（休憩）

15:00 講演 『モンスーンアジアにおける蕪栗沼・周辺水田の未来』

講師 呉地正行（日本雁を保護する会 会長）

15:40 基調講演 『コウノトリと共に生きる～豊岡の挑戦～』

講師 中貝宗治（兵庫県豊岡市 市長）



<文化センターホール>

9:30 午前の部 オープニング

田尻町立田尻中学校吹奏楽部による演奏

田尻町立沼部小学校6年生による「群読劇」

10:00 『田尻高等学校：田んぼの生きもの調査結果について』

宮城県田尻高等学校環境科学部

概要：自然・科学・環境をテーマとする「ポータフォン・モバイル・エコ・スクール2005」において全国74チームの応募の中から田尻高校が入選しました。その研究成果の発表を行います。

10:20 子供たちによる意見発表

兵庫県豊岡市立小坂小学校（コウノトリとの共生）
北海道美唄市立西美唄小学校（宮島沼・マガンとの共生）
宮城県田尻町立大貫小学校（蕪栗沼・マガンとの共生）
宮城県登米市立西郷小学校（蕪栗沼・マガンとの共生）

（11:30終了予定）

昼食

12:40 午後の部 オープニング

CD『ふゆみずたんぼの歌』について（『ふゆみずたんぼの歌』CD制作委員会代表 呉地正行）
『ふゆみずたんぼの歌』ほかの合唱（ふゆみずたんぼ合唱団〈栗原市立若柳小学校〉）

13:00 講演『スペイン・エbroデルタの自然共生農業』

講師 イグナシ・リポール（Ignasi Ripoll）（スペイン・エbroデルタ）

14:40 講演『アジアモンスーン型環境の現状と未来』

講師 西宮洋（国連環境計画アジア太平洋事務所 次長）

（休憩）

15:30 講演『食産業は環境を変える力があるか？世界はなぜ変革を必要としているのか？』

講師 庄司昭夫（株式会社アレフ（びっくりドンキーなど）代表取締役）

16:15 講演『持続可能な発展とふゆみずたんぼ』

講師 岩淵成紀（NPO法人田んぼ理事長）

（17:00 終了予定）

17:30 『土産土法交流会』

概要：地域の食材を地域の調理方法でご賞味いただきます。
会場：グリーンコート沼部（予定）（定員100人）



【2月5日(日) 3日目】

<文化センターホール・中央公民館・勤労青少年ホーム>

9:30 分科会

第1分科会

『ラムサール条約はアジアモンスーン地域の水田に何をもたらすのか』

趣旨：水田は高温多雨で、土壌の一次生産性が高いアジアモンスーンの気候風土に育まれてきた農地で、世界の米の約9割がここで生産されている。アジアの水田が持つ湿地としての優れた能力に注目し、水田の生物多様性と持続可能な水田農業の共存が可能であるという認識を作り上げ、ラムサール条約の視点から水田の価値の見直しと、同条約の水田に対する賢明な利用法についての議論を行う。

コーディネーター 呉地 正行（日本雁を保護する会 会長）

助言者 鷺谷 いづみ（東京大学生命科学研究科 教授）

西宮 洋（国連環境計画アジア太平洋事務所 次長）

小林 聡史（釧路公立大学 教授）

原 耕造（全国農業協同組合連合会 大消費地販売推進部 次長）

第2分科会 『蕪栗沼・周辺水田のラムサール条約登録と

これからの湿地保全を考える』

趣旨：『蕪栗・周辺水田』のラムサール条約登録の意味と、これからのラムサール登録地を中心とした国内湿地のネットワークの大切さについて国内の事例をもとに具体的に考えたいと思います。

コーディネーター 柏木 実（日本湿地ネットワーク 事務局長）

助言者 辻 淳夫（日本湿地ネットワーク 代表）

浅野 正富（日本湿地ネットワーク、弁護士）

高松 健比古（渡良瀬遊水地を守る利根川流域住民協議会）

岩淵 成紀（NPO法人田んぼ理事長）

第3分科会 『楽しい米づくりと生きもののにぎわい』

趣旨：水稲の有機栽培やふゆみずたんぼは、水や米の安全性を確保するだけでなく、コウノトリ、マガンなどの鳥たちと共に暮らすを求めることであったり、田んぼの生きものがにぎわう楽しい米づくりへの転換でもあるでしょう。米づくりと生きものについて農家の方々の多様な思いを参加者とともに共有しながら、その思いを具体化する農法の課題解決の方向性も参加者全員で話合いたいと思います。

コーディネーター 伊藤 豊彰（東北大学大学院農学研究科 助教授）

助言者 稲葉 光國（NPO法人民間稲作研究所 代表）

なわて 暁 悦喜（兵庫県豊岡市 コウノトリの郷営農組合 組合長）

相馬 喜久男（秋田県大潟村 農家）

三浦 孝一（宮城県田尻町伸萌冬期湛水水田連絡会 会長）

遠藤 則靖（宮城県石巻市河南 農家）

第4分科会 『共に暮らす豊かさと言を味わう贅沢』

趣旨：蕪栗沼や地域の人々と「共に生きる」豊かさ、「言」を味わう贅沢さを素敵な女性たちに語ってもらいます。「農の暮らし」から魅力あるライフスタイルを提案しましょう。

コーディネーター 小山 淳（宮城県古川農業試験場 主任研究員）

助言者 宇根 豊（NPO法人農と自然の研究所 代表）

菊池 玲奈（東京大学生命科学研究科保全生態学研究室）

西澤 佳代子（NPO法人田んぼ・副理事長兼食と暮らしプロジェクトリーダー）

斎藤 豊子（NPO法人田んぼ・食と暮らしプロジェクト）

佐々木 紀子（田尻町グリーン・ツーリズム委員会）

11:30 環境共生を願ったジャズ演奏（庄司昭夫トリオ）

12:00 分科会報告 総括コーディネーター 岩淵 成紀（NPO法人田んぼ 理事長）

12:30 ラムサール条約第10回締約国会議（COP10）へ向けて田尻からのメッセージ

12:45 閉会宣言

施設内の展示，販売の概要

- 開催期間 平成18年2月3日(金) 13:00~17:00
" 2月4日(土) 9:30~17:00
" 2月5日(日) 9:30~12:00 (地場産品販売はありません)
- 場 所 田尻町中央公民館・勤労青少年ホーム内
- 概 要 開催期間中，町内小・中学生が「蕪栗沼」や「田んぼ」をフィールドとした総合学習の時間に制作した絵画，俳句，モニュメント，標語，蕪栗沼ガイドマップなどを展示しています。どうぞご覧ください。
- ブ ー ス：環境教育ブース，ラムサール条約紹介ブース，NPO活動紹介ブースなど
展示，販売：産地直売関連出店，総合学習展示，記念俳句会，絵画展示など

「感動体感！ 雄大なマガンの飛び立ち観察」ミニエコツアー

壮大なマガンの飛び立ちで染まる田尻の空，自然のおりなす感動体験をあなたに・・・

行程(2月4日，5日共通)

【5:15 宿泊先発】 【6:00-7:00 蕪栗沼着・観察】 【7:30 宿泊先着】
(プラザホテル古川) (プラザホテル古川)

参加費 500円(バス代，ガイド料含む)(1日50人限定)

参加費と参加の申込方法

1 フェスティバル参加費・参加申し込み方法(宿泊別)

参加費

基本参加費

文化センター内イベント(プログラム付き) 参加無料

講演要旨等資料(3日間の講演，分科会総合資料) 2,500円/冊

2月4日(土)昼食代(お弁当) 1,000円

2月4日(土) 交流会参加費 4,000円

「感動体感！ 雄大なマガンの飛び立ち観察」ミニエコツアー参加費 500円/1回

(バス送迎・ガイド料込み)

フェスティバル参加申込方法(宿泊別)

参加申込書

申込用紙に必要事項を記入のうえ，郵送またはFAX，E-mailにて申し込みください。申し込みの詳細は申込用紙に記載しています。

参加費の振込先

参加費については，当日の受付での混乱を避けるため，事前に以下のいずれかの口座にお振込みいただきますようお願いいたします。

なお，振込み手数料については，自己負担となりますので，あらかじめご了承ください。

日本郵政公社 田尻郵便局(ぱるる)

口座名義 田尻町ラムサールフェスティバル実行委員会

記 号 18150

番 号 26023571

みどりの農業協同組合 沼部支店

口座名義 田尻町ラムサールフェスティバル実行委員会

口座番号 0002615

申し込みの流れ

郵送またはFAX，E-mailによる申し込み

5日以内に内容確認と参加者コードのご連絡を致します

指定口座にご入金（参加者コードを氏名の後に必ず記載願います。）

（例）田 尻 太 郎（00123）

以上で完了となります。

フェスティバル当日に事務局からの確認用書類（参加者コード記入済み）を持参し，
受付にて提示願います。（メールの方は，お手数ですがプリントアウトしてご持参願います）

その他注意事項

申し込みいただいた内容のキャンセルについては、平成18年1月24日（火）までをお願いいたします。それ以降にキャンセルさせた場合、昼食と交流会費（材料調達の済みなので）については、ご返金できませんのであらかじめご了承ください。

問い合わせ先

宮城県田尻町役場農政商工課

住所 〒989-4308 宮城県遠田郡田尻町沼部字富岡 183 番地 3

TEL 0229-39-1115 / FAX 0229-39-3100

E-mail: tajiri-ramu@town.tajiri.miyagi.jp

その他の事項

参加者との質疑応答・交流など

「ふゆ・みず・たんぼ」で栽培された無農薬・無化学肥料栽培米や田尻町特産品等の直売コーナーも設置いたします。

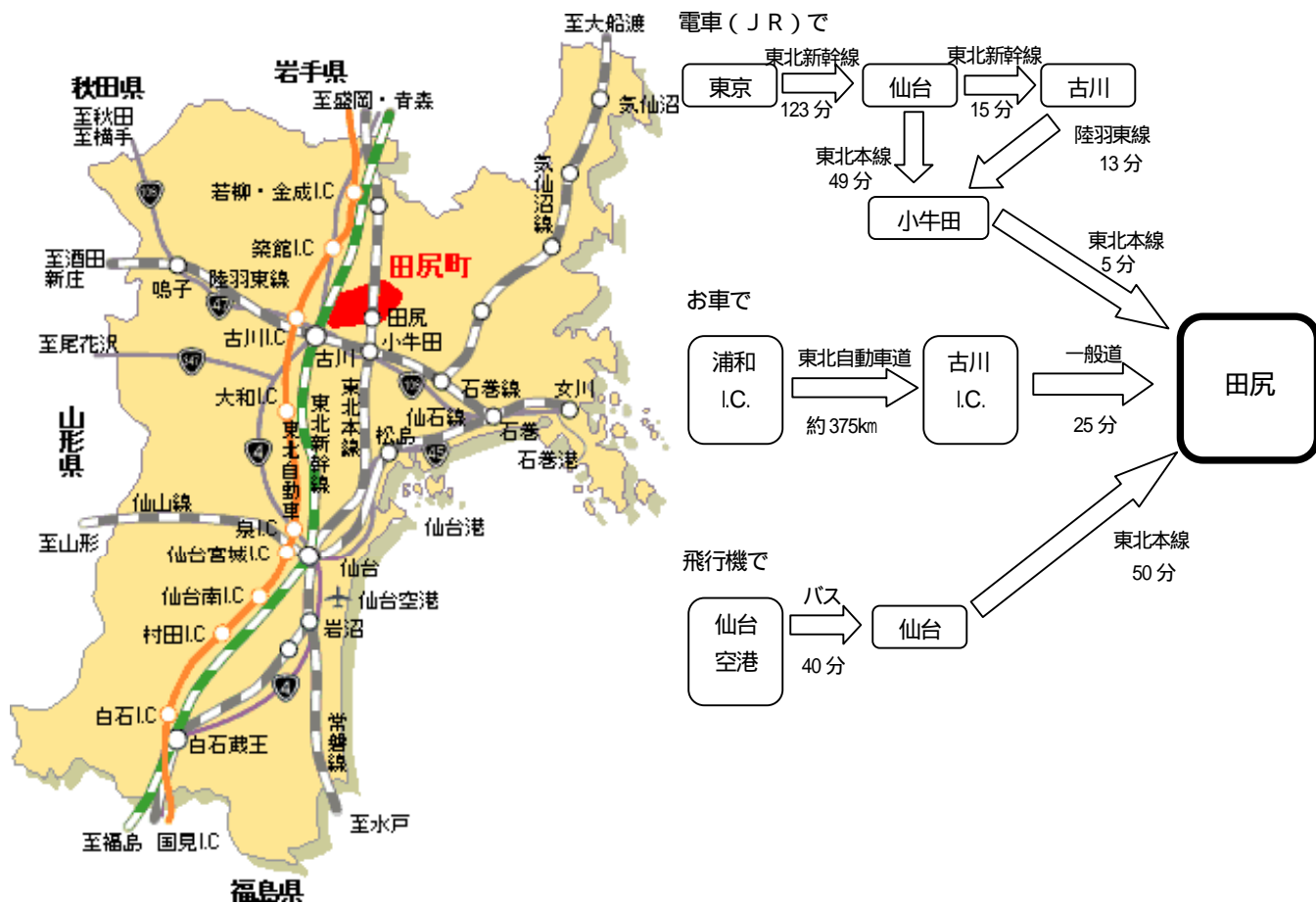
会場については会場図を参照して下さい。

シンポジウムの最新情報

<http://www.town.tajiri.miyagi.jp/>のホームページ上で最新の情報をお知らせいたしますので、ご活用下さい。

主要会場へのアクセス

各交通のご案内



宿泊申込方法

1 宿泊費と宿泊申し込み方法

宿泊費

5,900円(1泊朝食付き,全室シングル)

申し込み方法

宿泊申込書

別紙の申込用紙に必要事項を記入のうえ、FAXにて申し込みください。申し込みの詳細は申込用紙に記載しています。

振込方法

宿泊費については、当日の受付での混乱を避けるため、事前に申込用紙に記載されている口座にお振込みいただきますようお願いいたします。

なお、振込み手数料については、自己負担となりますので、ご了承願います。

問い合わせ先

株式会社 日本旅行 古川支店(国土交通大臣登録旅行業第2号)

担当 三浦由信

所在地 宮城県古川市七日町4-40

TEL 0229-22-1224 / FAX 0229-22-1409

ホテル周辺地図



「田尻町ラムサールフェスティバル」 参加申込書

フリガナ			
氏名			
連絡先	〒 -		
	電話 () -	FAX ()	-
緊急連絡先	携帯電話	-	-
Eメールアドレス			

月 日	申し込み内容	参加費	参加・購入の有無	その他特記事項
	3日間共通資料(講演・分科会の詳細資料となります)	2,500円		
2月3日(金)	開会式・講演	無料		
2月4日(土)	蕪栗沼マガンの飛び立ち観察	500円		
	講演ほか	無料		
	昼 食	1,000円		
	「土産土法」交流会	4,000円		
2月5日(日)	蕪栗沼マガンの飛び立ち観察	500円		
	分科会	無料		分科会番号を記入願います。
合 計				

バス運行スケジュールと利用希望について

月 日	運行内容 (出発地 中継地 到着地)	発車時間			乗車する便に
		出発地	中継地	到着地	
2月3日	古川駅 文化センター	12:20		12:50	
	文化センター 古川駅 ホテル	18:00	18:30	18:40	
2月4日	ホテル 文化センター 蕪栗沼	5:15	5:45	6:00	
	蕪栗沼 文化センター ホテル	7:00	7:15	7:30	
	古川駅 ホテル 文化センター	8:45	8:50	9:20	
	文化センター 古川駅 ホテル	17:20	17:50	18:00	
	文化センター 古川駅 ホテル	20:00	20:30	20:40	
2月5日	ホテル 文化センター 蕪栗沼	5:15	5:45	6:00	
	蕪栗沼 文化センター ホテル	7:00	7:15	7:30	
	古川駅 ホテル 文化センター	8:45	8:50	9:20	
	文化センター 古川駅	13:00		13:40	

その他事項(ご質問等がありましたら、ご記入ください。)

「田尻町ラムサールフェスティバル」 宿泊申込書（兼変更用）

フリガナ			
宿泊者氏名			
連絡先	〒 -		
	電話 () -	FAX () -	
緊急連絡先	携帯電話 -		

宿泊ホテル: プラザホテル古川 宮城県古川市駅前大通2丁目1-18 TEL: 0229-24-7700

宿泊日	要・不要(いずれかに をして下さい)	宿泊料金	客室タイプ	宿泊条件
2 / 2 (木)	要 ・ 不要	@5,900	シングル	1泊朝食付き 諸税込
2 / 3 (金)	要 ・ 不要	@5,900	シングル	1泊朝食付き 諸税込
2 / 4 (土)	要 ・ 不要	@5,900	シングル	1泊朝食付き 諸税込
2 / 5 (日)	要 ・ 不要	@5,900	シングル	1泊朝食付き 諸税込

朝食は、軽食程度のバイキングです

駐車場利用の際は、下記にご記入下さい。 駐車場の収容は100台程度のスペースです。

宿泊日	要・不要(いずれかに をして下さい)	宿泊日	要・不要(いずれかに をして下さい)
2 / 2 (木)	要 ・ 不要	2 / 3 (金)	要 ・ 不要
2 / 4 (土)	要 ・ 不要	2 / 5 (日)	要 ・ 不要

お申込みはFAXにてお願い致します。
FAX番号: 0229-22-1409

お申し込み後、7日以内にご回答のない場合、下記問い合わせ先にご連絡ください。

<p>宿泊料振込先</p> <p>銀行名 みずほコーポレート銀行 支店名 十五号支店 口座名 ㈱日本旅行 口座番号 普通口座 3102610</p>	<p>お問合せ・お申込先</p> <p>国土交通大臣登録旅行業第2号 株式会社 日本旅行 古川支店 所在地: 宮城県古川市七日町4-40 TEL: 0229-22-1224 FAX: 0229-22-1409 担当者: 三 浦 由 信</p>
---	---